

KLMオランダ航空無期
転換逃れの雇止め撤回
裁判の公正な判決を求める
署名にご協力ください！(3面)

フェニックス

PHOENIX

<発行者>
航空安全推進連絡会議 03-3742-9359
日本乗員組合連絡会議 03-5705-2770
航空労組連絡会議 03-3742-3251
<http://www.kohkuren.org/>

自動化と安全、環境、職場問題などテーマ



第39回航空政策セミナー開催

5つの報告・4職種から問題提起

新たな課題 加え学習深める

航空連は2月15日、第39回航空政策セミナーを開催しました。航空労働者をはじめ研究者や国会議員関係者など93名が参加。課題に合わせた各種から報告が行われました。午前は「自動化と飛行の安全」と「環

機械化、それとも代わらない人間か」。まず最初にA-1が労働に与える影響に関する想定、航空産業で進められている自動運転や航空機組み立てラインの自動化、衛生通信を利用した4D飛行について説明し、その後は3つの事故原因(B737-MAX事故、トルコ航空B737-800事故、エールフランスA330事故)を通じて自動化の問題を探ります。「自動化はすべての人が巻き込まれます」。

3つの報告は「JA盤の一層の強化を。報告者は津惠事務局長。日本空港と全日空の業績や内部留保、事業規制や保有機材数、人員の移動を分析。10年単位で変化を分析。見えてきたものは脆弱な労働環境でした。20春闘は「労働条件改善は安全要求である」という現実を握ってはなざす闘おう」と呼びかけました。

M(疲労管理)導入後の課題」と題して報告した奥平顧問(兼政策委員)は、導入2年目の課題として、報告制度が始まつて疲労レポートの提出数も増えているが、報告書を分析し対策を示す委員会から対策が示されている。そのため次の戦略が打ち出されていない。安

全労組の評議会では、米系3社(アメリカン航空・ユナイテッド航空・ルタ航空)の2019年

- ▶中労委、エミレーツ航空の再審査申し立て棄却。組合員3名の復職を命令 2面
- ▶20春闘―職場要求の前進めざし労使交渉本格化 2面
- ▶航空局、グラハムの人才確保や教育充実などを求めるアクションプラン策定 2面
- ▶JAL解雇争議―大田区、品川区、港区、目黒区で各駅リレー宣伝実施 3面
- ▶1000分の1の精度が要求されるエンジン組み立て 4面
- ▶ITF、新型コロナウイルスで航空会社に要請 4面

労働相談は航空連に
03-3742-3251
e-mail: honbu@kohkuren.org

誘導路

3月5日は啓

す時季とか。暖

冬とはいえ、寒

さも緩め身体

の動きも自然に活発つい

たように感じます。今年は例年より早い北風が予想されています。今年の桜前線は全国で早めの花見、ではなく、「桜見る会」が開催されるかもしれません

安倍首相の「桜を見る会」をめぐる国会審議にはあきれるばかりです。

●朝日新聞「天香

会」をめぐる国会審議にはあきれるばかりです。

全国で早めの花見、ではなく、「桜見る会」が開

催されるかもしれません

●安倍首相の「桜見る会」をめぐる国会審議にはあきれるばかりです。

全国で早めの花見、

ではなく、「桜見る会」が開

催されるかもしれません

●朝日新聞「天香

会」をめぐる国会審議にはあきれるばかりです。

全国で早めの花見、

ではなく、「桜見る会」が開

解決目指し都内南部地域で駅頭リレー宣伝



東急多摩川線「矢口渡駅」前での宣伝。2月18日

人や仲間に配るか
もいだきました。駅前
では車の窓を開け、「頑張
れ」との声をかけてくれる

J A L解雇争議

争議団を中心取り組まれているJAL本社前アピール行動。12時～13時までの昼休みの1時間、東京モノレール王洲駅からJAL本社が入る野村ビルに直結する連絡路のスカイウォークで宣言活動が連日取り組まれています。暖冬とはいっても、ときには横殴りの雨の日もあります。寒風吹きすぎました。経営トップが解決すると宣言ながら約束を守らず、当該組合からの再三にわ

たる社長出席の団体交渉にも応じない不誠実な対応をつけるJALは、決断を求める訴えを続けています。

争議団は「国と政策を背負い機200億円をこえるB747ジャンボ機を100機以上購入し、ドル物買いで2000億円を超える損害を与えてだれも責任を取らす」に日本航空は早期に

はなぜ解雇されなければならぬのか。植木さん、赤坂さん、約束した責任のない労働者165名が解雇された。私たち

もが解雇されることはあったとは知りませんでした。頑張って下さった声をかけてくれる人も。

2月18日、26日は都内南部地域共同行動として、大田区・墨田区・港区・品川区で「JAL争議の早期解決を求める南部地域各駅リレー宣伝」が取り組まれました。宣伝した駅数は48駅、配布した宣伝チラシは610枚。参加者は104名。駅頭での宣伝は30分と短時間ですが、チラシ配布と争議の解決に向けた支援を訴えました。地域に密着した小さな駅前ミナ駅とは違う効果を感じることができました。沢山の激励やご意見をいたしました。駅前では車の窓を開け、「頑張れ」との声をかけてくれる

48駅頭でマイク宣伝「頑張れ」争議団、本社前で連日宣伝

うと10枚ほしい」と声をかけてくる人、「主人もJAの元元長です。ビラを読ませていただきま

すと受け取ったジラ

幕の前で受け取ったジラ

を見ながら原告の訴えに

耳を傾け「ヘテランキ

ヤブテンを首切るなつて

信じられない。頑張れ

と励ます方、初めてJA

の解雇争議を知ったと

いう方もいました。

争議団は全国会議員を

対象に支援要請にも取り組んでいます。JAしが

うの解雇争議を知ったと

いう方もいました。

争議団は全国会議員を

対象に支援要請にも取り組んで

